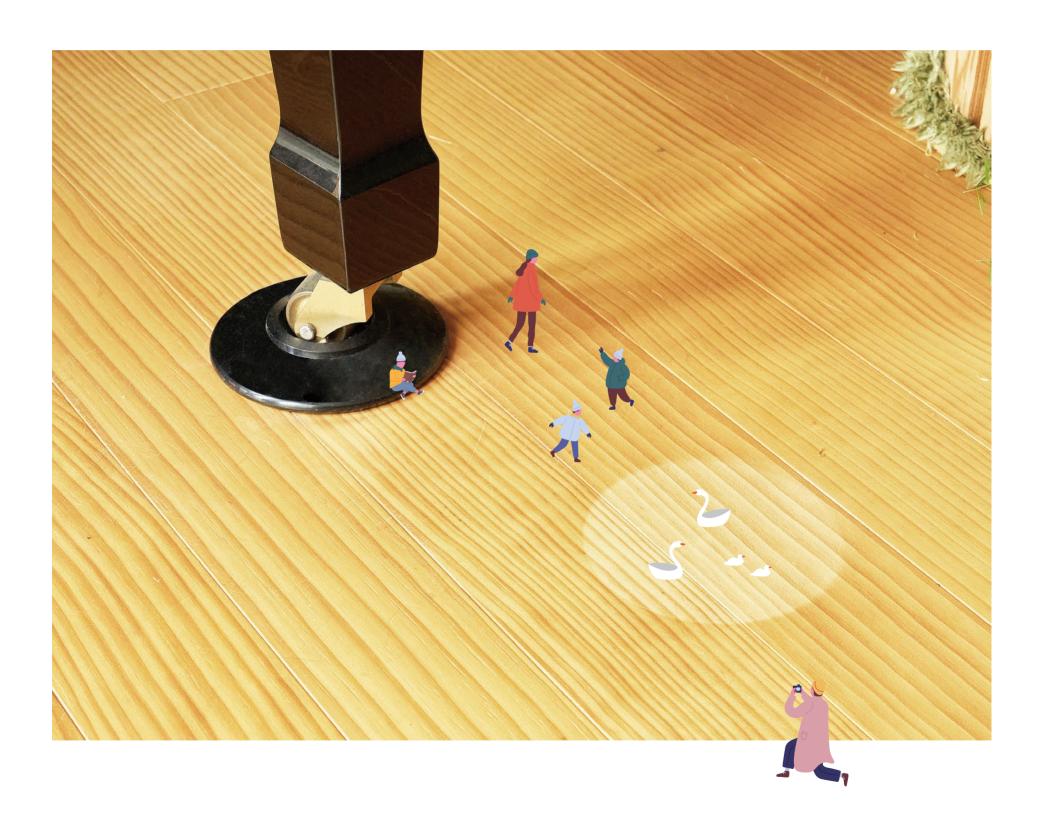


家族と一緒に、歳をとろうよ。

# 



木に囲まれた、 気ままな暮らし。

Before & After Story #01 Since 2014 8年使いこんで 思った通りの色になりました。 Model house discovery 70年代カルチャーと 同居する家。



8年使い込んで、 思った通りの 色になりました。

- 1) 竣工当時のキッチン。無垢の木そのままの質感にひかれ、 スイージーのニュージーパイン®を採用されました。ワークトップは、 ステンレスのバイブレーション仕上げ。階段下を利用したパントリ ーの扉もニュージーパイン®で統一しています。
- 2) 8年を経た現在のキッチン。当初のさっぱりとした印象から、 より温もりを感じるあめ色に変化し、キッチンを使いこなすにつれて 増えた暮らしの道具と調和しています。

#### Since 2014

## Before & After Story #01

#### 今でも、ウチに来られる人は「木の香りがするね」って。

久しぶりにお邪魔すると、ご夫妻の変わらぬ笑顔。 広々とした玄関ホールには、今もなお、清々しくリラックス できる木の香りが漂っています。奥様にお伝えすると 「そうそう、『いい香りがするね!』ってよく言われるんですよ。 もう建ててから8年も経つのに、木ってすごいですよね」。 奥様はご自宅でピアノ講師をされており、ご主人も奥様 もお友達との"ウチ飲み"がお好きなことから、人の出入り が多いY様邸です。

前回の取材は、竣工して間もない2014年のことでした。 そして現在、暮らしの道具は程よく増え、中庭のモミジも 大きく生長。何より感慨深いのは、ふんだんに使われて いる木の色です。フローリング、建具、キッチンなど、 多数ご採用いただいたウッドワン製品のすべてが、深み のあるあめ色に変化。「私の兄が遊びに来たときも、 『いい色になったな!』って言ってくれました」。

またもうひとつ、猫ちゃんの顔ぶれも前回とは変わって いました。「前の子は、わけあって私の実家から一時的 に預かっていたんです。でも返すと寂しくて、別の子たち を正式にお迎えしました」。人見知りなのか、なかなか

お出ましになりませんでしたが、普段は自由気ままに過 ごしているそう。「フローリングを走り回るので、よく見る とキズがいっぱい。でも気にならないですね」と大らか に受けとめていらっしゃいます。

歳月を経て温もり感が増した住まいには、ますます人 が集まるようになりました。休日は空間を開け放し、中庭 に置いた七輪で焼肉パーティーが始まります。

奥様の趣味は「香川県のうどんめぐり」で、ご主人は 地域のだんじり祭りに参加することを毎年楽しみにして おられるのだとか。「二人とも日本的なものがずっと 好きだから、こういう家になったんでしょうね。他の家 にはあんまりない雰囲気が気に入っていますし、老後の 想像もしやすくなりました(笑)」とご主人。「これから家 を建てようという知り合いから、『参考にしたいから行っ ていい?』って言われることも。どこを見てもらっても、 自慢できる家だと思っています」



前回の記事はこちら 回済



Before -2014-



After -2022-







- 3・4) 竣工当時は木の色が浅く、白木に近い雰囲気 でした。年月とともに、使い込んだからこその深みある 色合いに変化していくことが無垢の木の特長。家具 の種類が増え、レイアウトも変わり、より自分たちらし い暮らしを楽しんでおられる様子が伝わってきます。「フ ローリングは凹凸のある質感が気持ちいいですね。猫 たちもよく寝転んで日向ぼっこしています」と奥様。
- 5) 音楽教室の生徒さんも通ってこられるため、玄関 はゆとりある広さに。玄関ホールに上がって左手が 音楽教室、右手に入るとLDKにつながります。建具 はすべてウッドワン製品。特にLDKの入り口となる建 具は、格子デザインで和のイメージにこだわられました。
- 6) 「以前はソファを置いていたんですけどね」とご主人。 床座で過ごすようにしたことで、よりくつろげるように なったそうです。空間が広く見え、フレキシブルに使え るようにもなりました。



押しかけた取材陣にびっくり して、なかなか姿を見せて くれなかった猫ちゃん。ご主 人が捕まえてくれた貴重な ショットです。



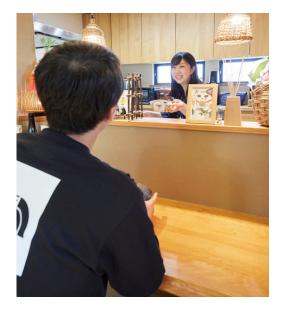
音楽教室は何度かレイア ウトを変えたそうで、ピアノ の脚まわりには元の床色 がくっきり。「経年変化が わかりやすいね!」と今回、 表紙に採用させていただ きました。



#### 居酒屋さんのような雰囲気で お酒を酌み交わすのが至福の時間。

普段、奥様の音楽教室は夕方から21時まで開かれているため、 先に下ごしらえをしておき、レッスン後に急いで仕上げて21時半 に夕食がスタートします。時間勝負のこのときに、使い勝手のい いキッチンが大活躍なのだとか。「パパッと動けるので本当に助か っています。どんな料理を作っても映えますしね。作っているとき のゴチャゴチャが見えないように、腰壁を作ったのも正解でした」。 そろそろ出来上がるという頃合いを見計らい、ご主人も阿吽の 呼吸でお皿を出したり、テーブルに並べたり。「僕もたまに料理 をするんですよ。一時は自家製のぬか漬けにハマりました。そう いうことをやりたくなるキッチンなのかな」。

急いで料理をしたぶん、食べ始めれば晩酌もしながら2~3時間 はゆっくりするのがルーティーン。お二人ともお酒が好きなので、 カウンターの脇にはお気に入りの種類をずらりと並べる棚も造り 付けています。「毎日が飲み会みたいな(笑)。好きな音楽を聴 きながら飲むと最高ですね」。居酒屋をイメージして腰壁に付けた カウンターで、今夜も乾杯。休日にはお友達も呼んでワイワイ 過ごします。奥様によると「みんな勝手に冷蔵庫を開けて、お酒 をつくる。セルフサービスでお願いしています(笑)」。夫婦水 入らずの時間も、人が集まって過ごす時間も、キッチンがしっか りとつないでいます。











7) リビング・ダイニングをひとつにし、床座で過ごすスタイルに。奥には 小上がりになった和室も設けています。必要に応じて仕切れる細い桟の 建具が、和の趣を高めています。

8) 奥の和室は人が集まったときにも使いやすい空間。キッチン方向にも つながっているので動きやすい動線です。

#### my kitchen point!

## だから、この部ツ野シが好き。

大満足のお住まいの中でも、とくに良かったとおっしゃるのが、 「スイージー」で形づくるキッチンまわりの空間。

長年をともにしての、実際の使い心地やお気に入りのポイントをうかがいました。



su:iji ニュージーパイン® NZ ナチュラル色

私たちの好きな

和の趣にぴったり。





「他社のキッチンも検討したんですけど、スイージーに出会ったら無垢の木とステ ンレスの天板に一目惚れでした。他にそういうキッチンはほとんどなくて、それか らは悩まなかったですね。もう、これだ!って感じ」。木の素朴さとステンレスの 無骨さは、ずらりと並んだお酒や、カウンターを彩る和の小物と相性抜群。ちな みにご主人、「これが一番だ!というお酒は?」とお聞きすると「相当選ばないとな …」としばらく思い悩むほどのお酒好き。答えは、麦焼酎の『佐藤』だそうです。







#### たくさんの食器が全部 すっきり片付く収納力。

奥様は食器が大好きで、独身の頃は陶芸も たしなまれていたとか。買い集められた食器 や、自作の食器を数多くお持ちです。「5人 家族か!?っていうぐらい…。グラス類も飲み 物によって使い分けるのでたくさんあるんです けど、スイージーは収納も充実しているので ありがたいですね。全部入りきっています!」。 大皿などは引き出し収納に仕舞っているた め、取り出すのもラク。もちろん奥様の好み は和食器で、スイージーにもっとも映えるの は「砥部焼」とのことです。



#### キズも味わいと思って 神経質にならずに使えます。

お二人とも「鏡面仕上げのような、つるつる したものは苦手」だそうで、ワークトップはス テンレスのバイブレーション仕上げ。「つやの ないマットな質感が気に入っています。傷も 目立たないので思いきり使えますね。なんせ、 夕食の支度はスピードが命だから」。角の丸 みを抑えたスクエアなシンクは、すでに廃番 であることをお伝えすると奥様は驚かれ、「い いタイミングで選んだのかも。私たちにとっ ては本当に使いやすいんですよね」と、さらに 愛着がわいたご様子でした。



センサー水栓は 一度使うと便利すぎて。

「食洗機は便利かなと思って付けたんですけど、 使った食器はすぐに手で洗ってしまう。結局は 収納庫のようになっています」と奥様。そこで 重宝しているのが、手をかざせば水が出る センサー水栓です。「最初、センサーまではいら ないかな?って思っていたんですけど、実際は料 理中も本当に助かっています」。ご主人も「これ は一度使うとやめられない。よそのお宅に行っ ても、つい手をかざしちゃうんですよ、習慣で」。 感染症対策にもなるセンサー水栓、皆さんも 導入されてはいかがでしょうか。



## 70年代カルチャーと

同居する家。

「中古物件をリノベーションして住まう」。 新築を建てる以外の選択肢を用意したいと、 自分自身が生まれ育った家を改装してモデルハウスへ。 70年代の古き良きスタイルを残しながら 楽しみながら暮らせる家が完成しました。 さぁ、じっくり見てみましょう!





### 古×新のコラボレーションは、 心地よさと、新しい発見がある。

ゆとりを持った土地に、古い家と比較的新しい家が並ぶ福知山駅からひと駅の場所。ここにフレームキッチンを導入された道下工務店のモデルハウスがあります。「フェンスの向こうのアメリカ」と名付けられたこの家は、古民家の角を曲がると突如現れる滑走路のような道路の先にありました。代表の道下さんが生まれ育ったご自宅。70年代の物件をリノベーションしたもので、まさに"中古物件をリノベーションする"ことの楽しさや魅力を体現した一軒です

「この土地で新築を建てると、中途半端に高いんですよ。でも若いご夫婦の方は"中古?そんなの選択肢にない"って」と道下さん。中古ならではの良さがあると証明したい…その想いでこのモデルハウスを設計されました。特長は、"なるべく元のまま"を

使ってコストを抑えながら、工夫を凝らして変身させる。階段やキッチンの位置はそのままに、壁を抜いてひとつの空間へ。LDKの中央に階段があるユニークさは、リノベーション物件ならではです。見学に訪れるお客様からは「楽しい!」と言葉をいただくのだとか。それもそのはず。室内には、4人家族の設定で置かれた色とりどりのインテリア。お父さんが音楽好き、お母さんは今話題のカフェに憧れている設定です。「そう設定することで、インテリアの選択もスムーズでしたね。見学に来られたお客様も、"うちも4人家族"とイメージしやすい」と道下さん。そこで、ぜひにと選ばれたのがフレームキッチンでした。奥様がカフェ好きという設定はもちろん、アメリカンスタイルの家のテイストにぴったり。当初はスイージーを検討されていまし

たが、「ピンと来たんです。まだ商品が出来上がる前の状態でしたが、資料で見て、かっこいい!ぜひ入れたい!って」。

リノベーションをする人は変化を楽しむ方。そんなこだわりを追求する方にとって絶対はまる!と確信されたのだとか。フレームキッチンはリノベーションとの相性も良いと、太鼓判を押していただきました。この古さと新しさが同居したお家。実際に見学に来られたお客様も満足して、中古リノベーションに対して前向きな印象を持っていただけるのだとか。

「新しい物件も、古い物件も増えていく状況を打開したい」という、 道下さんの強い想いが込められた、 素敵なモデルハウスでした。





#### うづくり

夏場でもベタつかず、さら りとした木肌が涼しげでな めらかな踏み心地を演 出。素足になじむ凹凸と ゆったりとした安心感が 特徴的な人気の高い床 材です。



#### タテスジ

すべすべとした心地よい 足触りが、畳のような爽 快感を生み出します。角 度によって足感を変えるス トレートな筋溝が、日々の 暮らしに、ささやかな刺激 を与えてくれます。



#### オビノコ

無垢そのものの暖かみを 感じさせる、歩くにも横に なるにも丁度いい触れ心 地。思わず裸足になってし まうようなざらつきのある自 然な足感が魅力です。



#### ウェーブ

足裏に程よくフィットし、柔 らかさを感じさせるなだら かな曲線が快適な踏みご こちを演出。ついついまっ すぐ歩きたくなる動きのあ る床面は、遊び心を感じさ



#### ハンドスクレイブ

細かく波打ったなめらかな 凹凸が特徴。どこか、お 寺の床を連想させるような 柔らかく自然な踏みごこち が、慌ただしい日常に安ら ぎを与えてくれます。



#### スプーン

ランダムに施された独特 な曲線が、まるで手彫りの ような踏みごこちを表現。 足裏を刺激する程よい凹 凸と素朴な質感による快 適さが魅力の床です。



## ウッドワンの森は再造林率100%

日本国内の木を伐採した後の再造林率は

3割程度にとどまっています。\*\*2

ウッドワンの森のニュージーパインは

30年大切に育てて伐採した後も、

100%の再造林を行って持続可能な

社会の実現に貢献しています。

※1 再造林:人工林を伐採した跡地に再び苗木を植えて 人工林をつくること。

※2 出典元:林野庁林政審議会配布資料

### 100% ウッドワンの再造林 ウッドワンの再造林率=100% 日本国内の再造林 30%程度 日本国内の再造林率=30%程度

#### 木は切る、そしてまた植える、 それが地球を守る

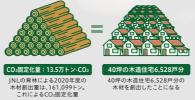
木は二酸化炭素(CO2)を吸収し固定化してくれますが、 成長期を過ぎるとCO2の貯蔵量はほぼ一定になると言 われています。だから、CO2を固定化した木を切って、ま た新しい木を植える。こうした適切な森林管理は大気中 のCO2を減らし、持続可能な社会を作り出します。

#### CO2の"貯蔵庫"としての木材

COoは森林で樹木に吸収された後も、炭素として木材 中に固定されています。そのため木材製品は、燃やさ れたり微生物によって分解されたりして、再びCO2とし て大気中に放出されるまでの貯蔵庫であるといえます。 木材製品を生産することは、植林で吸収したCO2を、 炭素として固定する貯蔵庫を生産しているといえます。

## 若木の場合 (二酸化炭素を吸収して成長) >>> O2 CO<sub>2</sub> >>>





#### webサイトのご案内



https://woodone.jp

ウッドワン kimama



「木と、くらそう。」木と人とのかかわりをいろいろな 角度から見つめるサイトです。

#### Instagramのご案内



Ki-mama.

木のある暮らしを、もっと気ままに。 いろいろな物語を、一つずつ、ていねいに集めています。 #kimama な暮らし

#### 木壱家の人々「サスティナブル編」



木を使うことは、地球環境を良くする ことにつながっています。 植える→育てる→使う→また植える。 \ 動画で公開中 / このサイクルを回していくことが大切 なのです。その他の「無垢で感じる イイコト」も木壱家の人々が楽しく ご紹介します。



